

予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤事業  
認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業（心の健康）  
令和7年度 事後評価結果について

令和8年4月  
国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
医療機器・ヘルスケア事業部  
ヘルスケア研究開発課

1. 事後評価の目的

研究開発課題等について、研究開発の実施状況、研究開発成果等を明らかにし、今後の研究開発成果等の展開及び事業の運営の改善に資することを目的とする。

2. 課題評価委員会

書面審査実施： 令和8年2月6日（金）～令和8年2月18日（水）  
ヒアリング審査実施： 令和8年2月24日（火）

3. 課題評価委員

別紙のとおり

4. 評価項目

①研究開発達成状況

・研究開発計画に対する達成状況はどうか

②研究開発成果

- ・当初計画していた成果が着実に得られたか
- ・成果はメンタルヘルス分野の進展に資するものであるか
- ・成果は社会的ニーズへ対応するものであるか
- ・必要な知的財産の確保がなされたか

③実施体制

- ・研究開発代表者を中心とした研究開発体制が適切に組織されていたか
- ・十分な連携体制が構築されていたか

④今後の見通し

・今後、研究開発成果のさらなる展開が期待できるか

⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目

- ・生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守していたか
- ・若手研究者のキャリアパス支援が図られていたか

・専門学術雑誌への発表並びに学会での講演及び発表など科学技術コミュニケーション活動（アウトリーチ活動）が図られていたか

#### ⑥総合評価

#### 5. 評価対象課題

開始年度	研究開発 代表者	研究開発機関	役職	研究開発課題名
令和3年度	古川 壽亮	京都大学	特定教授	こころの健康の保持増進のための超個別化AIプロジェクト：完全要因ランダム化試験からlivingRCTプラットフォームに至る開発研究
令和3年度	堤 明純	北里大学	教授	組織的介入による多角的な職場のメンタルヘルス対策の効果検証を目的とするクラスター無作為化比較試験

#### 6. 総評

令和7年度終了2課題を対象に、課題評価委員会による書面審査およびヒアリング審査による評価を行った。その後、総合討論を行い、課題評価委員会としての評価結果を確定した。総合評点の結果は、1課題が「計画どおり進捗した、または計画した成果が得られた」、1課題が「計画どおり進捗していない、または計画した成果が得られていない」と判断された。全ての委員より出された意見の集約結果については、事後評価通知文として研究開発代表者に通知した。

以上

(別紙)

予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業  
認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業（心の健康）  
課題評価委員会 委員名簿

令和8年2月24日現在

(敬称略、五十音順)

氏名	所属	役職
池澤 聡	医薬品医療機器総合機構	審査専門員
折笠 秀樹	情報・システム研究機構 統計数理研究所	特任教授
◎神庭 重信	九州大学	名誉教授
後藤 励	慶應義塾大学経営管理研究科	教授
佐藤 俊哉	情報・システム研究機構 統計数理研究所	特任教授
津下 一代	女子栄養大学	教授
長峯 正典	防衛医科大学校	教授
藤森 麻衣子	国立がん研究センター	室長
水野 雅文	あさかホスピタル	院長

◎：評価委員長

以上